

2. 変 遷

昭和 39.6	総務課において第一号発刊
昭和 43.10	企画開発室の発足に伴いここにて編集
昭和 47.12	企画開発室は総務課企画財政係となる
昭和 49.12	企画課が独立し現在に至る

②楢葉町広報無線

現代は情報化の時代で、日常さまざまな出来事をより早く、より正確に報道することが要求されている。

町ではこうした要求に応える為、この度広報無線の設置に踏み切り、昭和 56 年 2 月 28 日竣工した。

1. 広報無線の役目

●一般行政広報 ●緊急非常災害広報 ●時報

2. 広報無線システムの特徴

1. ただちに・正確に・同時に・容易に広報できる
2. 無線電波を使っているため、地震・台風・火災などで有線放送のように断線による通信不能がない。
3. 商用電源が停電した時は蓄電池で作動する。
4. 執務時間外でもあらかじめ定めた時刻にテープレコーダーにより自動放送できる。
5. 全地区一斉放送のほかに、地区を選択してその地区だけの放送ができる。
6. 子局の設置場所の選択・増設が簡単にできる。

3. 超短波広報無線

町庁舎に設置された本局装置から様々な情報を超短波 FM 電波に送信し、部落などに設置した受信設備（パンザマスト）にて受信し、それを自動的に拡声増巾してスピーカーにより住民に放送する。

4. 施設の概要

本局	送受信装置（親局） 1基	携帯用 無線機	2台
子局	送受信装置（パンザマスト）31基	着工	昭和 55 年 8 月 1 日
戸別受信機	320台	竣工	昭和 56 年 2 月 28 日
車載無線機	5台	総工費	87,867,000 円

5. 放送の際のエコー（こだま）による障害が悩みであり、この改善について研究している。